



Press Release

HBC 北海道放送株式会社

※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたいという願いがこめられています。

2月28日(金)PM5:00 解禁

**今春放送・HBC 北海道放送制作
日昭ドラマスペシャル『三笠のキングと、あと数人』
追加キャスト発表！**

“渡鬼” “大奥” “カメ止め” “3000万” 俳優揃い踏み！

HBC 北海道放送制作、日昭株式会社(本社札幌)が特別協賛するスペシャルドラマ『三笠のキングと、あと数人』(全6話)が今春の放送に向けて準備中です。

本作は「北海盆唄」・北海道遺産「北海盆踊り」発祥の地※とされる空知の三笠市を舞台にした連続ドラマで、主演は期待の若手俳優・高杉真宙と柄本時生の二人。

現代社会で生きづらさを抱えた地元出身の若者達が、盆踊りで巻き起こす騒動とほろ苦い恋物語をベースに、新しい地域のあり方を考え、若者が町と共に成長していく地方と人の創生がテーマの、オリジナルストーリーとなり、昨年8月に撮影を終えました。

その脇を固める本作の重要な役どころとして、ドラマ「渡る世間は鬼ばかり」でお馴染みの俳優・東てる美、ドラマ「大奥」の女中トリオの一人を演じ「美味でございますう」のセリフで知られる久保田磨希、映画「カメラを止めるな！」での怪演で大ブレイクしたしゅはまはるみ、そして、NHKで昨年放送したドラマ「3000万」での熱演が記憶に新しい、いま注目の若手演技派俳優・森田想が出演します。

東は地元三笠市民に長年愛されるスナックのママ役、久保田は三笠市役所職員の盆踊り実行委員役、しゅはまは主人公健太の母親役、そして森田は本作のマドンナ・由紀子役という設定で、日本を代表するベテランと若手俳優がその演技力を存分に発揮、本作の見どころの一つとなっています。

HBCドラマ『三笠のキングと、あと数人』は今春の放送(地上波北海道ローカルほか)を予定しています。

※明治時代、三笠市幾春別の炭鉱街で唄われた「べっちょ節」が、昭和に入り「北海炭坑節」になり、さらに現在の全国的にも知られる「北海盆唄」へと変化したと言われています。「三笠北海盆踊り」は無形文化として北海道遺産にも登録されています。毎年8月13日・14日・15日に開催。

【お問い合わせ先】

HBC 北海道放送 コンプライアンス室視聴者センター
電話)011-232-5806

〈東てる美〉



東京都出身。

高い演技力で映画界のみならず、テレビドラマや舞台でも次々と話題作へ出演。NHK では大河ドラマ『おんな太閤記』をはじめ、連続テレビ小説『おしん』などでの演技で、実力派俳優として存在感を発揮。

また脚本家・橋田壽賀子の『渡る世間は鬼ばかり』シリーズに長年出演し、お茶の間の支持を集める。

〈久保田磨希〉



京都府出身。

存在感のある個性派俳優として、フジテレビ『大奥』シリーズ、NHK 連続テレビ小説『まんぷく』、『舞いあがれ！』、大河ドラマ『花燃ゆ』、映画『夜明けのすべて』など、確かな演技力で幅広い役柄をこなす。現在放送中のテレビ朝日『ホンノウスイッチ』に出演中。

〈しゅはまはるみ〉



東京都出身。

高校より小劇場を中心に俳優活動を続け、2018 年公開の映画『カメラを止めるな！』に参加し、主人公の妻・日暮晴美役で大ブレイク。東スポ映画大賞新人賞を受賞。その後も主演映画『かぞくあわせ』や NHK 朝ドラ『スカーレット』、『RIZAP』の CM 出演、『家政夫のミタゾノ』レギュラー出演など名バイプレイヤーとして活躍中。

〈森田想〉



東京都出身。

幼少の頃より子役として活動をスタート。

第 30 回東京国際映画祭スプラッシュ部門選出作品で、2018 年 3 月公開の映画『アイスと雨音』で初主演を務め、若手演技派俳優として注目を浴びる。

映画『わたしの見ている世界が全て』でマドリード国際映画祭 2022 外国映画部門・主演女優賞受賞。

映画『辰巳』で第 16 回 TAMA 映画賞・最優秀新進女優賞受賞。

〈森田想コメント〉

『三笠のキングと、あと数人』は、地方の小さなお祭りを中心に、いろいろな人が交差していく物語です。

地元に戻ってきた経験がある人は共感できる部分が多いと思いますし、そうでない方にも地方の魅力を感じていただける作品だと思います。お話も面白いし、映像もとても綺麗なので、ぜひ楽しみにしてください！

あと、由紀子の浴衣姿にもご注目を！（笑）